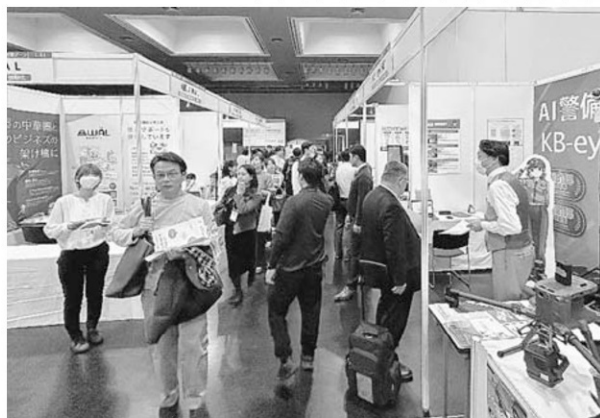


防災やDX解決策提案

「地域×Tech関西」開幕 61社が出展

まちづくりを支える
サービスを紹介する見
本市「地域×Tech
関西」が12日、京都市
左京区のみやこめっせ
で始まった。全国61社
が出展し、各地域が抱
える防災やオーバー
リズム(観光過剰)、
デジタルトランスフォー
メーション(DX)
といった課題の解決策
を提案した。
3回目の今年には学校や
保育の支援がテーマの
展示も初めて企画し
た。



61社が出展し、DXや防災関連サービスなどをPRした「地域×Tech関西」(京都市左京区・みやこめっせ)

警備会社コトナ(東山区)は、山梨県の企業と開発したカメラ映像解析による雑踏警備や交通規制サービスを展

示。祇園祭の警備員を一部で従来の20分の1に減らした実績をアピールした。

災害復旧や配送に使う大型ドローン(無人航空機)の展示や在宅勤務支援ツール、オンライン交通管理サービスなどの紹介もあり、来場者が見入っていた。

13日まで。入場無料。展示のほか関西の自治体首長らが登壇するDXや脱炭素などのセミナーもある。

(古市大)